

## 注意！花火やバーベキュー時の火災発生！！

花火やバーベキューなどでは「火」の取り扱いに注意を！

行楽シーズンであるこの時期は、花火やバーベキューなどで火を使うことが多くなります。そんな中、誤った使用方法により毎年のように痛ましい事故が発生しています。

花火はルールを守って安全に楽しみましょう

花火は火薬や火を用いるため、使い方を誤れば大事故につながる恐れがあります。次の点に注意してください。

- 風の強い日はやらないこと
- 近くに燃えやすいものがない、広い場所で行うこと
- 人や家にむけないこと
- 衣服に火がつかないように注意すること
- 水の入ったバケツを用意し、遊びが終わったら完全に消火すること
- 子ども達だけで遊ばないこと
- その他取り扱い注意表示を守ること



バーベキューではカセットコンロや着火剤の取扱いに注意しましょう

### 《カセットコンロ》

アウトドアで、カセットコンロに装着したカセットボンベが爆発する事故が多発しています。カセットボンベは、過剰に加熱されると爆発につながりますので、コンロを覆うような大きな鍋や鉄板の使用、2つ以上のコンロを連結して使用等行わないようにしましょう。

### 《着火剤》

着火剤は、バーベキューの火おこしの際によく使われていますが、揮発性・燃焼性が高いため注意が必要です。点火するときは、十分な距離を取り、適量を守ってください。また、火勢を強めようと継ぎ足しを行い、着衣着火した事例も報告されていますので、絶対にしないでください。



### 《炭の処理》

炭は、一度着火すると徐々に温度が上昇し約 800℃まで達するため、水をかけただけでは消火できません。水の中に長時間浸ける、専用の炭壺に入れるなど、適正な処理により完全に消火してください。また、枯葉や燃えやすいものの近くに炭を放置するのは絶対にやめましょう。